

環境と健康

環境づくり・健康づくりのコミュニティ情報紙

発行者

一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
広島県環境保健協会

佐藤 均
広島市中区広瀬北町9番1号
郵便番号 730-8631
電話 082-293-1511番
振替口座01380-2-27511
URL <http://www.kanhokyo.or.jp/>

坂町で第56回広島県公衆衛生大会開催 県内各地から700人が参集

第56回広島県公衆衛生大会が、12月10日に安芸郡坂町にあるサンスタールで開催され、あいにくの雨模様のなか、県内各地から公衆衛生推進委員や行政事務担当者など、約700人が参集しました。



大会宣言を提案する宮本英暉議長

この大会は、公衆衛生の向上に日々努力する個人や団体を称え、知識や体験を交流しあい、真に健康な県民生活の実現に寄与することをねらいに開催しており、式典や講演などを行っています。

式典では、県知事、県医師会長及び環境保健協理会長より公衆衛生活動において多大な成果をあげた52個人・11団体の功績を称え、表彰状が授与されました。

続いて「環境啓発ポスター・標語コンクール優秀作品表彰式」を実施。最優秀賞をはじめ、開催地の坂町、坂町周辺の府

新年のご挨拶



理事長 佐藤 均

新年あけましておめでとうございます。

公衆衛生推進委員の皆様をはじめ、健康と環境の課題に取り組んでいただいている皆様には、平素から地域に根付いた地道な活動を通じて県民の健康づくりと環境の保全にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

さて現在、健康分野では、広島県の「健康寿命」が全国で男性が30位、女性が46位と低位にあり、これをいかに延伸させるかが大きな課題となっております。また、がん検診においても、受診率50%を目標にしていますが、まだまだ低い状況にあり、受診率向上のための更なる取り組みが求められています。

一方、環境分野では、昨年パリで開催された、COP21で地球の温度上昇を2度未満に抑える目標を決定しました。日本もこれに呼応して温室効果ガスを2030年度に、2013年度比26%削減することを約束しました。そのため、県民一人ひとりの省エネ活動の取り組みが重要となっています。また、昨年9月に「改正瀬戸内

大会宣言

私たち公衆衛生推進委員は、積み重ねられた歴史の中で、あらゆる主体と協働しつつ、自主的・組織的な実践活動をとおり、公衆衛生思想の普及向上に努めてきました。しかし、地球温暖化やごみ問題、生活習慣病の蔓延など、深刻かつ緊急を要する課題は後を絶ちません。

本年8月28日に参議院本会議を通過し、9月25日に衆議院本会議で可決、成立した「瀬戸内海環境保全特別措置法の改正」では、住民による継続した環境保全活動が求められており、「快適な環境づくり」がこれまで以上に重要な活動テーマとなります。

私たちは地域の課題に積極的に対処しながら、人々がより快適で健康やかに暮らせる活力あるコミュニティの実現をめざし、これまでも増して地域リーダーとしての機能を発揮していく必要があります。

そこで、「健やかな暮らしをつくる人々の集い」をテーマに開催するこの大会を契機に、次の6つの項目について、より積極的・効果的に取り組む決意を示し、地域リーダーや関係者一同の情熱と知恵と行動力を結集し、その実現に向けてまい進することを宣言します。

- 一.生活空間の美観の確保と快適な環境づくりの推進
- 一.生活習慣の見なおしと実践活動による健康づくりの推進
- 一.あらゆる主体の連携による脱温暖化のまちづくりの推進
- 一.学社融合による環境と健康の実践活動の推進
- 一.ごみ減量に向けた3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進
- 一.上記の5つの項目を実現するためのコミュニティ組織の強化

平成27年12月10日 第56回広島県公衆衛生大会

中町、海田町から10人の児童・生徒が出席し、当協会の佐藤理事長から表彰状とトロフィーを受け取りました。最後に全員で記念撮影を行い、午前の部を終了しました。

午後からは「アトラクション」や「1万人のエコチェック事業おたのしみ抽選会(関連記事2面参照)」を実施。

アトラクションでは、「米作り体験記」八十八の想いをいただく」と題して、坂町立坂小学校の5年生児童73人による学習発表と合唱が披露されました。児童は、今年学んだ米作りについて、寸劇を交えながら紹介しました。また幼児の頃の写真を背景に合唱する児童のすばらしい歌声に、参加者は感動していました。



た。

最後のプログラムでは、京都大学環境科学センター助教の浅利美鈴先生による「ごみ減量に向けた「ミニ」活動のあり方」個人から地域ぐるみへ」と題した講演を行いました。ごみの排出量の現状や昔と今の比較、これからの生活のあり方などについて、クイズやイラストなどを用いてわかりやすく解説されました(関連記事2面参照)。

最後に、開催地である坂町公衆衛生推進協議会の縫部洋輝会長が閉会のあいさつを行い、大会を締めくくりました。



一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)

TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

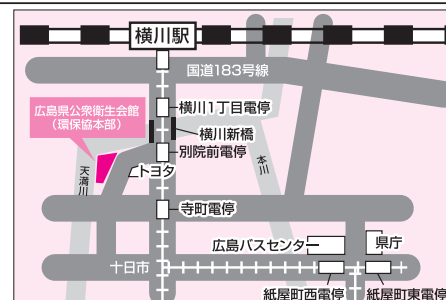
かんぽきょう

検索

基本理念

~みんなの生命(いのち)をまもりたい~

私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。



脱・温暖化フェア2015

inひろしま開催
温暖化防止と適応策の検討を

11月27、28日、広島県立産業会館で『脱温暖化フェア2015 inひろしま』が開催されました。このイベントは、国や県、団体や住民などさまざまな主体が、環境問題や政策を共有、啓発しようと企画しているものです。

今年度も、「建設技術フォーラム」「エコ・インベシジョンメッセ」と同時開催で、約120団体が出展し2日間で約5000人が来場しました。

脱・温暖化フェアでは、イベントの垣根を越え会場全体での一体感を創出するとともに、出展者間や一般参加者とのコミュニケーションの推進をねらい、会場全体を周遊するクイズラリーを企画しました。挑戦者には、各ポイントでの学びに加え、断熱



各TEAMが互いに活動をPR(上)、ブースでは気になるアイテムや工夫、近況など情報交換(中)、体験コーナーも大盛況(下)



クイズラリー終了者には省エネ、環境配慮グッズを配布(上)、温暖化クイズに挑戦(下)

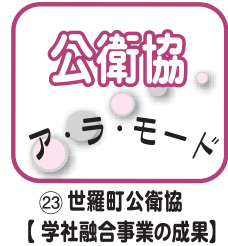
温暖化対策地域協議会(通称:TEAM)の活動について学びました。

28日は、TEAMの面々が参集し、活動発表やエコ工作体験コーナーなどを行いました。脱温暖化センターひろしまのブースでは、IPCC第5次評価報告書の内容を解説報告する映像を流し、地球温暖化の現状を知らせるとともに、対策も呼びかけました。IPCC第5次評価報告書によると、地球温暖化は、人間活動の影響が主な要因である可能性が極めて高いとし、緩和策と適応策の検討が必要としています。

27日は、広島市立大河小学校4年生約60人が校外学習に訪れ、クイズに挑戦し、環境問題について学びました。また、島根県の浜田市地球温暖化対策地域協議会から約10人が視察に訪れ、広島県の地球

温暖化センターひろしまのブースでは、IPCC第5次評価報告書の内容を解説報告する映像を流し、地球温暖化の現状を知らせるとともに、対策も呼びかけました。IPCC第5次評価報告書によると、地球温暖化は、人間活動の影響が主な要因である可能性が極めて高いとし、緩和策と適応策の検討が必要としています。

(脱温暖化センターひろしま)



23 世羅町公衛協
【学社融合事業の成果】

11月21日、世羅町にある世羅小学校で、学習発表会が開催されました。4年生68人は「世羅人ぬ宝(せらぬちのたから)」報道番組SRステーション」と題して、公衛協と世羅小学校との学社融合活動メニュー「水辺教室」を取り上げました。

科・社会などの授業で学んだことが報道番組風に演劇にとりまとめられていました。演劇は、自然の生き物たちに扮した児童が、環境の変化により、

善されているが、窒素・りんが減っていない現状が報告されました。また、地元の人から教えてもらった川遊びや里山遊び、怒られたエピソードや採った生き物

と報告。小さなたくさん生き物が、他の多くの生き物を支えていること、水が汚れると、小さな生き物が姿を消してしまうことを学びました。

公衛協のおもい次世代へ

世羅人ぬ宝をみんなで守る

生き物の種類や数が減ってきていることを呼びかけることから始まりました。水質の変化について、八田原ダム

の食べ方も紹介され、会場からは、笑いや相づちなどが聞かれました。続いて、水辺教室の様子や指標生物による水質調査の結果が「ややきれいな水」であった

の食べ方も紹介され、会場からは、笑いや相づちなどが聞かれました。続いて、水辺教室の様子や指標生物による水質調査の結果が「ややきれいな水」であった



川辺の昔遊びを披露する児童(上)、音楽に乗せて世羅人ぬ宝を守るメッセージを発信(下)

民との学習活動、体験活動の大切さを感じました。併せて、いろいろなものは買わないでゴミを減らす・お皿の汚れはふき取ってから洗う・ごみは分別し、資源を大切にすると環境宣言が発表されました。

「自然を知ってほしい、感じてほしいと続けてきた水辺教室が、このような形で発表されて

非常にうれしい。川の汚れや自然の大切さ、自然との付き合い方を学ぶ良いきっかけとなっていると改めて感じることができました。」と曾我春雄会長。

今後も、学社融合の活動を継続し、地域の宝を知り、守る「ミニコミュニティ」に期待したいと思います。(地域活動支援センター)

我がまちの公衛協 ⑤



所属：廿日市市公衛協
お名前：今津 俊昭
公衛協歴：13年目
会長歴：13年目
世帯数：32,055世帯
推進委員数：299人

一致協力で活動を推進

平成25年に独立事務局設置

Q1 力を入れている活動

廿日市市環境都市宣言の方針に従い、市民・事業者・行政の協働による地域環境の保全や地球温暖化防止に積極的に取り組んでいます。広島県アダプト(マイロード)、花いっぱい運動をはじめとする清掃活動団体支援のほか、ウォーキングなどの健康づくり、献血運動、海のクリーンアップ作戦への参加や地球温暖化対策はつかいちさくら協議会との連携に力を入れています。

Q2 活動成果

地域活動が根付き、そのおかげで住民の環境意識、健康への意識が向上したこと、獣医師会との連携で犬のふん対策が進んだことで、散乱ごみのないクリーンな街になってきました。不法投棄はまだありますが、年々減少しています。

また、昨年から発行している広報誌「公衛協だよりはつかいち」のほか、連携団体と発行する「はつかいち青少年健全育成新聞しゃぼん玉」を市内の全小中学校で児童・生徒に無料配布しています。情報提供、呼びかけに応じて、各種イベントへの積極的な参加も増えてきました。

Q3 苦労した点と解決策

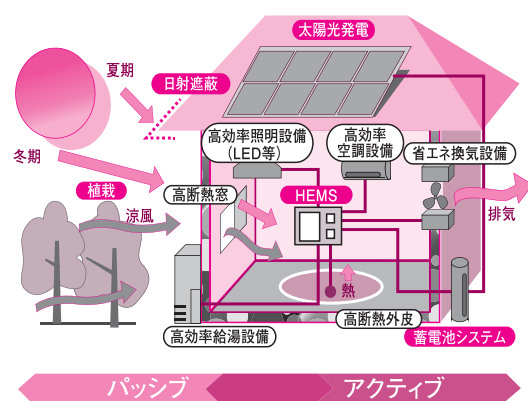
推進委員の任期は2年。1年で交代となる場合も多く、役員や他の推進委員の負担

となっています。また、推進委員も参加住民も高齢化が進むこと、募金への協力が減ってくるなど、公衛協、コミュニティともに組織力の強化が大きな課題となっています。公衛協としての機能強化を図るため、平成25年、行政から独立した事務局を設立し、総務・環境健康・廃棄物対策の3部門を置きました。市町村合併以後、旧町単位で活動している大野・佐伯・吉和・宮島と協力し、課題解決を図っていきます。

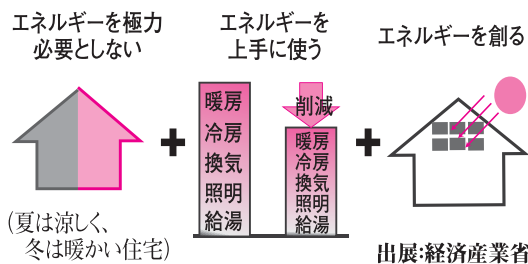
Q4 会長のモットー

公衛協の活動は、推進委員をはじめ、住民、事業者、行政の協力が欠かせません。「一致協力」をモットーに、人には親切に、腹を立てず、笑顔で対応するように心がけています。(地域活動支援センター)

ZEHの概念図(イメージ)



年間で消費する住宅のエネルギー量が正味で概ねゼロ以下



今回は、太陽光発電を利用した省エネ住宅について紹介します。住宅に太陽光発電を

設置し、発電した電力を自家消費することは省エネにつながりますが、太陽光発電をさまざまな設備や機器と併せて導入することで、理想的な省エネ住宅とすることができま

す。国では、こうした理想的な省エネ住宅を、ネット・ゼロ・エネルギー住宅(通称:ZEH(ゼッチ))と呼び、普及を図っています。ZEHとは、住宅の年間の一次エネルギー消費量が、正味(ネット)でゼロになる住宅のことです。

具体的には、高断熱の外壁や窓、高効率の給湯・照明・空調設備などを備え、エネルギー管理システムにより、工

光熱費削減、快適性向上と防災性能の向上 家庭部門温室効果ガス削減に向けて

広島県の 再生可能 エネルギー

⑤ 省エネ住宅ZEH

エネルギー消費量を抑えたうえで、その消費量に見合う電力を太陽光発電により自ら創り出す住宅をいいます。国では、2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均でZEHを実現する「ことを目指しています。普及状況については、今年度、国の補助制度を活用して、全国で6千146件、広島県内で127件のZEHが設置されており、設置件数は増加傾向にあります。

国は、昨年7月に、2020年以降の新しい温室効果ガスの削減目標を、2030年において、2013年比で、26%削減することを決定しました。この中で、家庭部門のエネルギー消費量は、同年までに約40%削減することとされており、ZEHの本格的な普及が期待されています。

ZEHは、環境性能に優れ、光熱費の削減、快適性の向上、エネルギー自立化による防災性能の向上などのメリットがあり、ハウスメーカーなどからもZEH仕様の商品が販売されています。

一方で、関連設備導入のための追加費用が必要となり、一般的な住宅と比べてコスト高となっています。

家庭部門からの温室効果ガスの排出削減に向けて、ZEHに関する技術開発や量産化によりコストの低減を図りながら、補助制度などを活用して普及を促進することが必要です。

(広島県環境政策課)



⑥ 歯間ブラシのすすめ

食事をされたあと、歯と歯の間にものがつままることを経験された方は少なくないと思います。そんなとき、どのように対処されていますか？

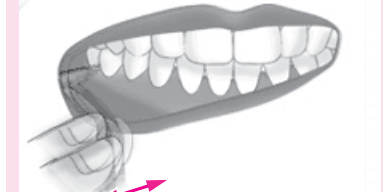
ものが挟まるのは歯と歯の間の隙間が原因であることが少なくありません。ものが挟まるのは、歯周病や年齢が上がることも歯ぐきが下がることが原因であることが多く、どなたにでも起こりえることです。食堂やレストランには必ず爪楊枝(つまようじ)が置いてあることから、ものが挟まる方が

お勧めしています。歯間ブラシは歯と歯の間のお掃除を専門にするもので、挟まったものをとるだけでなく、歯周病を予防することもできます。歯周病の初期症状

枝が手放せない方だけでなく、口臭が気になる方、歯磨きのときに歯ぐきから血が出る方などには、特に使用をお勧めしています。

歯間ブラシにはいろいろ

●歯間ブラシの使い方(奥歯)



あまり口を大きく開けず、歯間ブラシで頬の内側を押し出すようにしてブラシ部分を歯間部に挿入し、左右に数回動かしてください。

弊社HPで紹介しております。
<http://jp.sunstar.com/useful/usage/interdentalbrush/>

方不安がある方は、まずは歯科医院で指導を受けられてはいかがでしょうか。ちなみに、歯と歯の間に歯石がついている方は、歯間ブラシは入りません。ご自身で落とせない汚れは歯科医院で定期的にクリーニングを受けられることをお勧めします。

歯肉炎は歯と歯の間から 窮屈でない少し細めを選択

一般財団法人サンスター財団 歯科衛生士 高稲浩実

少なくないことがわかります。さて、この爪楊枝、確かに挟まったものをとることができそうですが、私は爪楊枝代わりに歯間ブラシを使うことを

状である歯肉の炎症は、歯と歯の間から起こることが多いことから、この部位の汚れを落とすべく、歯間ブラシは歯周病予防に大変効果的です。普段から爪楊

いろいろなサイズがあり、購入の際は、歯間に合ったとき窮屈でない少し細めのものを選択してください。歯と歯の間に歯間ブラシを入れることに不安を感じ

じる方には、ゴムでできたソフトピックもおすすめです。使う時間帯は、就寝前の歯磨きのときなど時間を決めて使ってください。でも結構です。歯間ブラシのサイズ

方不安がある方は、まずは歯科医院で指導を受けられてはいかがでしょうか。ちなみに、歯と歯の間に歯石がついている方は、歯間ブラシは入りません。ご自身で落とせない汚れは歯科医院で定期的にクリーニングを受けられることをお勧めします。

公衛協 ア・ラ・モー

②4 江田島市公衛協
【事後フォロー活動】

11月14日、江田島市の国立江田島青少年交流の家で「フェスティバル江田島」が開催されました。

デーモン閣下の「がん検診へ行こうよ」のぼりが出迎えてくれる公衛協ブースでは、江田島市公衛協が第1次審査で選定した環境啓発ポスター・標語コンクール入選作品が展示され、小中学生や保護者を

はじめ、来場者の注目を集めていました。ブースでは、脱温暖化のパネル展示と併せてアンケート・クイズが行われ、参加者には景品のLEDライトが手渡されました。意識啓発効果をより高めるため、昨年度より温めていたアイデア「環境啓発ポスター入選作品を印刷したシール」を景品に貼ったところ、大変好評で、例年より早く品切れとなりスタッフが慌てる一場面も。また、「自分の子どもの作品が貼られた景品が欲しい」と交換希望がありましたが、既に該当



作品の景品が品切れとなっており交換ができませんでした。来年は予備シールを準備しますとのことでした。

よく見ると、がん検診へ行こうチラシも景品に巻き、セロテープで固定されています。これは、会場内や沿道にチラシが散乱しない工夫で、実際、会長、事務局をはじめ

公衛協スタッフが交代で会場内を巡回、散乱ごみの回収を行っていましたが、ほとんどごみは落ちていないとのことでした。

また、公衛協のトレードマークとして、今回新たに作成、お披露目となった赤いはっぴが会場に映えていました。

今年度会長になった伊勢木武会長は、「まずは、地域のごみステーションの管理を見直し、ルールの徹底に力を入れていきたい。継続して行っている不法投棄撤去だけでなく、不法投棄ごみパトロールなどの防止対策も課題。」と語ってくださいました。

(地域活動支援センター)

ポスター・標語全入賞作品を展示

啓発効果を高めるアイデアがきらり!

禁煙による健康改善の効果

スモークフリー社会の実現を
喫煙後に残るタバコ成分

話題の健康づくり
アラカルト
⑧ サードハンド・スモーク

タバコに起因する健康被害はがんだけでなく、呼吸器・循環器・消化器疾患、生活習慣病、うつなどさまざまです。喫煙には、喫煙者が煙を吸い込む「二次喫煙」、周りの人が喫煙者の吐き出した煙やタバコから立ち上る煙を吸ってしまう「三次喫煙（受動喫煙）」がよく知られていますが、「二次喫煙（サードハンド・スモーク）」をご存知でしょうか？これはタバコの煙がなくなった後でも残

る汚染物質のことで、残留タバコ成分とも言われます。喫煙者の部屋や車の中、身体や呼気、髪の毛、衣服に付くのはタバコの臭いだけでなく、有害物質も付着し害を及ぼします。たとえば外で吸っても喫煙後に屋内に入れば、臭いと一緒有害物質を持ち込んでいます。

広島県では平成28年4月1日から「広島県がん対策推進条例」により、受動喫煙防止対策が一部義務化されるなど強化され、県民全体でがん予防の推進に資する環境整備に取り組むことになりました。当協会が企画し、事務局を担っている広島県禁煙支援ネットワークは、禁煙普及活動を

推進するために、広島県内の保健医療関係組織によって平成14年に設立されました。地域で取り組む活動へのきょうかけとなることをねらいに、関係団体によるタバコ対策の事例紹介や講演など、毎年研修会を開催しています。

「がん対策日本一に向け、スモークフリー社会の実現を」をテーマに、第13回研修会（公開講座）が広島医師会館で開催され、禁煙対策に関心のある個人・団体・健康づくり関係者ら74人が参加しました。

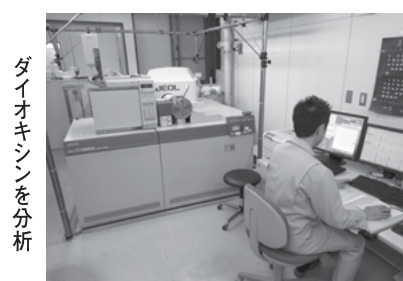
基調講演では、広島県禁煙支援ネットワーク運営委員長の岩森茂氏に「合言葉は「スモークフリーシティ」と題して、禁煙対策について、がん対策で求められることと題して、がん医療の歴史と動向について、タバコは予防可能なリスク要因の筆頭であることを講演いただきました。その他、各団体の禁煙対策について7題の情報提供発表

して講演いただき、受動喫煙対策の重要性が改めて示されました。「スモークフリー」とは「煙から解放されている、煙がない」という意味です。

続く特別講演では、公益財団法人がん研究會理事の門田守人氏をお招きしました。「わが国のがん対策で求められることと題して、がん医療の歴史と動向について、タバコは予防可能なリスク要因の筆頭であることを講演いただきました。その他、各団体の禁煙対策について7題の情報提供発表

第13回研修会（公開講座）プログラム

- 基調講演 『合言葉は「スモークフリーシティ」』
広島県禁煙支援ネットワーク運営委員長 岩森 茂
(広島市立安佐市民病院名誉院長)
- 特別講演 『わが国のがん対策で求められること』
(公財)がん研究會理事・有明病院名誉院長 門田守人
- 情報提供
 - ①『歯科医師の喫煙と禁煙指導に関する調査報告』
広島県歯科医師会 地域保健部 委員長 郷田 浩
 - ②『薬局薬剤師の禁煙支援状況(その2)』
広島県薬剤師会 常務理事 中川潤子
 - ③『広島県医師会 禁煙推進委員会の取組みについて』
広島県医師会 常任理事 津谷隆史
 - ④『事業所と連携(コラボヘルス)した禁煙対策』
全国健康保険協会 広島支部 保健グループリーダー 山田啓介
 - ⑤『禁煙支援パスの導入～禁煙外来5年目の課題とこれからの取り組み～』
マツダ病院 主任看護師 倉田尚子
 - ⑥『ばら祭におけるイエローグリーンリボン活動』
福山市医師会 喫煙対策担当理事 藤岡正浩
 - ⑦『広島県の受動喫煙防止対策について』
広島県 がん対策課 課長 佐々木真哉
- パネル展示
広島市、広島県歯科医師会、企業(ノバルティスファーマ、ファイザー)



ダイオキシンを分析

環境生活センター
業務紹介(5)
分析1課

分析1課は、水や土、空気に含まれる有害物質の分析を、主に人の健康保護に関する検査として実施しています。ま

た、産業廃棄物の適切な処理に関する検査として、廃棄物の分析も行っています。分析する有害物質は、カドミウム、水銀、ヒ素、有機リン、ポリ塩化ビフェニル(PCB)、ダイオキシン類な

た、土壌汚染対策法(平成14年制定)では、有害物質の汚染状況が人の健康や土地売買に影響を与えるため、分析結果が重要な意味を持ちます。従って、有害物質の分析には正確さが重要

な、土壌汚染対策法(平成14年制定)では、有害物質の汚染状況が人の健康や土地売買に影響を与えるため、分析結果が重要な意味を持ちます。従って、有害物質の分析には正確さが重要

な、土壌汚染対策法(平成14年制定)では、有害物質の汚染状況が人の健康や土地売買に影響を与えるため、分析結果が重要な意味を持ちます。従って、有害物質の分析には正確さが重要

信頼性のある1兆分の1のために
分析で支える環境監視の目

ど、皆さんがよく知っている物質もあります。これらの物質の中には、極微量であっても、人の健康を害し、環境中に長く留まるものもあるため、被害の長期化が問題となる場合があります。ま

で、なかでもダイオキシン類の環境基準等は1兆分の1(※)という極微量の濃度での測定が定められているため、より高度な分析技術が求められます。このため、国は、平成13年に特定計

は、この制度の運用初期から認定事業所となっており、継続して信頼性の高い計量証明事業を行っています。

私たちの生活は、多種多様な化学物質の恩恵を受けて、便利に、そし

※東京ドーム1つ分の容積の水(120万㎡)に1.2gの物質がふくまれている時の濃度です。(東京都水道局HPより)

て豊かになっています。一方、これら化学物質の中には、使用方法を誤ると甚大な被害を及ぼすものがあることも事実です。当協会は、これからも、より複雑化かつ高度化する環境問題に対し、これまで培った技術と知識に加え、新しい技術を取り入れながら、さまざまな要求にお応えできる組織として貢献してまいります。

構造と作り方の説明(上)、ストーブを作成する参加者(下)



脱温暖化センターひろしまでは、各地域温暖化対策地域協議会(以下、TEAM)が実施する行事を視察して、ノウハウや課題を共有する「TEAM活動視察交流事業」を実施しています。

11月22日、東広島市で活動する「ひろしま環境家族」の『ウッドガスストーブで省エネ講座』に、5団体11人が視察に訪れました。橋野代表によるあいさつの後、「省エネと私

たちの環境」と題し、広島市地球温暖化対策地域協議会の新宮原充さんから、IPCC第5次評価報告書からみる温暖化の現状や原因、温暖化防止に向けた緩和策(CO₂を出さない・減らす)と適応策(温暖化による悪影響に備える)などの話を聞きました。また、温暖化で増す災害リスクに備えることも適応策の一つで、災害時に暖房や調理道具としても役立つ「ウッドガスストーブ」を紹介。長所は、木くずや枝葉、マツボックリなどを燃料に、素早く効率良く燃え、煙もほとんど発生せずに調理が可能なのうえ、CO₂排出量もない(カーボンニュートラル)ことです。

その後、地球温暖化防止活動推進員の岩見潤治さんの指導により、「一般参加者」と一緒にウッドガスストーブづくり

に挑戦しました。材料は、ペンキ缶や鋸(かすがい)などホームセンターで簡単に入手でき、

1時間程度で完成。そして、完成したストーブで火を起こし、マシユマロやバナナなどを焼いて食べました。少しの燃料ですぐに炎が上がり、あちこちで驚きと感心の声が聞かれました。本事業参加者からは、「防災から考える温暖化対策として紹介し、普及させたい」「イベントで実演し、多くの人に関心を持ってもらいたい」「メンバーに報告し、来年度の事業計画に盛り込めなにか検討したい」「イベント準備や当日の運営、スタッフの役割分担などが参考になった」などの声が聞かれ、今後の事業活性化につながるヒントを得たようです。

『2016公衆衛生推進手帖』が完成 公衆衛生活動の必読書・手引書

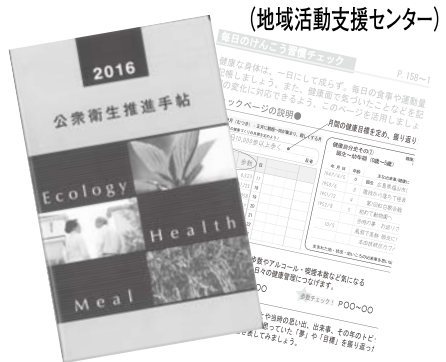
公衆衛生推進手帖は、公衆衛生活動の必読書・手引書として、毎年12月に環境協が作成し、県内約1万人の公衆衛生推進委員に配布しています。印刷・製本の費用は、環境・健康募金環境協配分金を充てています。

この手帖は、「公衆衛生活動とは何か」「公衆衛生推進委員の役割について」など、公衆衛生推進委員が実践活動をする際に必要な情報を掲載した手引書です。新任推進委員を対象とした基礎研修のテキスト、環境・健康募金の説明、実践活動や学習会の資料、市町公衛協の実践事例や公衛協活動の歴史の確認、環境家計簿や日々の健康づくりの記録など、さまざまな場面で活用できます。

また、新たに「健康自分史(125・140～163ページ)」を収録しました。これは、母子

手帳から先の健康記録をキーワードに過去の出来事や健康増進の取り組み、検診結果を記録することで、より良い未来の健康づくりに活かしましようという提案です。

公衆衛生推進手帖を手にした公衆衛生推進委員のみなさま、ぼろぼろになるまで何度も読み返し、ご活用ください。



(地域活動支援センター)

ウッドガスストーブで省エネ講座 防災リスクに備えることも必要

平成27年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰受賞

対策活動実践・普及部門

大崎上島けんこう文化の島づくり協議会

大崎上島けんこう文化の島づくり協議会が、環境大臣表彰を受賞されました。

これは、地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人又は団体に対しその功績をたたえ贈られるもので、大崎上島けんこう文化の島づくり協議会が平成17年度より実施している「アイドリングストップ運動」が評価されました。

12月15日、環境大臣表彰を受け、大崎上島けんこう文化の島づく

り協議会の梅澤恵子会長は、当協会と県庁に報告に訪れ、喜びと今後の意気込みを語られました。



右から、松島勇雄氏(商船高専副校長)、亀山英治氏(副町長)、梅澤恵子氏(協議会長)、森永智絵氏(環境県民局長)、上田康二氏(脱温暖化センター長)

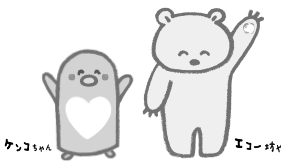
環境と健康の学習ルーム 新グッズの紹介

脱温暖化は年々30枚を導入しました。グリーンカーテンを連想させる黄緑を基調とし、背中にエコー坊やを配しました。これまでのピンクでは、派手すぎて着にくいと思っていた方もぜひご利用ください。小さなエコー坊やも隠れていますので、探してみてください。



(地域活動支援センター)

平成27年度 地区衛生組織活動資金募集



通称

『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、平成27年度で56回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

環境・健康募金
総額(円)
51,106,161



市町名	募金額(円)	達成率(%)
呉市	7,966,182	142.6
府中市	1,496,400	134.9
海田町	1,960,000	311.5
熊野町	1,420,600	270.1
坂町	347,300	120.0
江田島市	1,873,500	289.0
竹原市	1,721,700	269.4
大崎上島町	0	0.0
大竹市	2,536,440	394.2
廿日市市	3,234,674	203.5
廿日市市佐伯	374,000	153.9
廿日市市吉和	63,400	334.6
廿日市市大野	2,536,000	432.3
廿日市市宮島	208,918	457.2

市町名	募金額(円)	達成率(%)
安芸太田町	758,830	461.2
北広島町	0	0.0
安芸高田市	2,078,000	306.9
東広島市	4,441,675	112.0
三原市	1,590,920	72.5
世羅町	766,500	222.0
尾道市	2,830,950	87.8
福山市	8,534,705	85.4
府中市	1,093,166	124.8
神石高原町	0	0.0
三次市	1,131,569	95.5
庄原市	2,073,835	259.8
その他	66,897	—
合計	51,106,161	138.8

募金の使われ方(環境協配分金)

- 公衆衛生推進委員養成に係る各種研修の開催(基礎研修、専門研修、合同研修など)
- 公衆衛生推進手帖の作成・配布
- 全県共通事業(重点メニュー)の推進
- 環境と健康の学習ルームの運営

など

～環境づくり～

- ・1万人のエコチェック事業
- ・公衛協発・ひろしま美化大作戦

～健康づくり～

- ・1万人の食チェック事業
- ・公衛協発ウォーキング事業

市町別一覧表(平成27年11月末現在)

※この表は、平成27年11月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。